

AI を活用した特許調査・分析サービスの比較

Gemini Deep Research

近年、人工知能（AI）の進化は目覚ましく、様々な分野でその活用が進んでいます。知財分野においても、AI を活用した特許調査・分析サービスが登場し、従来の手作業による調査・分析を効率化し、より精度の高い結果を得ることが可能になっています。

本稿では、Patentfield AIR、Summaria、Tokkyo AI、AI Samurai という 4 つの主要な AI 特許調査・分析サービスについて、機能、活用事例、料金体系などを比較し、それぞれのサービスの特徴を明らかにします。

各サービスの概要

Patentfield AIR

Patentfield AIR は、ドイツの IPlytics 社が提供する特許調査・分析プラットフォームです。AI 技術を活用し、大量の特許データを高速に分析することで、特許の権利範囲の解釈、侵害リスクの評価、技術動向の分析などを支援します。世界 100 以上の国と地域の特許情報を網羅しており、日本語、英語、中国語、韓国語など、多言語に対応しています。ユーザーフレンドリーなインターフェースと包括的なデータベースが高く評価されています。

Summaria

Summaria は、米国に拠点を置く Lex Machina 社が提供する特許分析プラットフォームです。AI と機械学習を用いて、特許訴訟のデータ分析、特許価値の評価、競合企業の分析などを提供します。米国、欧州、アジアを含む主要な法域の特許訴訟データを網羅しており、訴訟の経過、判決、和解などの情報を分析することができます。訴訟データの分析力と予測精度に定評があります。

Tokkyo AI

Tokkyo AI は、日本の Tokkyo.Ai 株式会社が提供する特許調査・分析サービスです。自然言語処理技術を活用し、特許明細書のテキスト解析、特許分類の自動化、類似特許の検索などを実現しています。特許データベースとしては、日本特許庁のデータベースを中心に、米国、欧州、中国、韓国などの特許情報も提供しています。日本語特許データに強く、自然言語処理技術による高精度な分析が特徴です。しかし、その焦点が日本市場に特化しているため、より広範なグローバル特許カバレッジを求める企業にとっては制限となる可能性があります。高度な自然言語処理機能と日本語特許データへの特化が評価されています。

AI Samurai

AI Samurai は、日本の AI Samurai 株式会社が提供する AI 特許調査・分析プラットフォームです。AI 技術を活用し、特許調査、先行技術調査、侵害リスク分析、無効資料調査などを自動化することで、知財業務の効率化を支援します。特許データベースとしては、世界 100 カ国以上の特許データと、学術論文、技術文献などの非特許文献データを保有しています。多様な AI 技術を活用した包括的な知財業務支援に強みがあります。コストパフォーマンスと操作性の良さが高く評価されています。

機能比較

機能	Patentfield AIR	Summaria	Tokkyo AI	AI Samurai
特許検索	○	○	○	○
類似特許検索	○	○	○	○
特許分類	○	○	○	○
特許翻訳	○		○	○
権利範囲分析	○	○	○	○
侵害リスク分析	○	○	○	○
無効資料調査	○		○	○
特許価値評価		○		○
競合分析	○	○		○

機能	Patentfield AIR	Summaria	Tokkyo AI	AI Samurai
特許マップ作成	○			○
訴訟予測		○		
技術動向分析	○		○	○

各サービスの活用事例

Patentfield AIR

- **企業 A 社:** 新規事業の開発にあたり、**Patentfield AIR** を用いて競合他社の特許状況を調査。競合の技術動向を把握し、自社の開発戦略に活かした。
- **大学 B:** 研究開発の成果を特許化するために、**Patentfield AIR** を用いて先行技術調査を実施。既存特許との差異を明確化し、特許出願戦略を策定した。
- **特許事務所 C:** 顧客企業の特許ポートフォリオを管理するために、**Patentfield AIR** を活用。特許の権利範囲、有効性、市場価値などを分析し、顧客企業に最適な知財戦略を提案した。

Summaria

- **企業 D 社:** 特許訴訟のリスクを評価するために、**Summaria** を用いて過去の訴訟データ分析を実施。訴訟の可能性、勝訴率、損害賠償額などを予測し、訴訟戦略を立案した。
- **法律事務所 E:** 顧客企業の特許訴訟を支援するために、**Summaria** を活用。裁判官や弁護士の過去の判決や主張を分析し、効果的な訴訟戦略を構築した。

Tokkyo AI

- **企業 F 社:** 新製品開発にあたり、**Tokkyo AI** を用いてアイデアの特許性を調査。類似特許の有無、新規性、進歩性を迅速に判断し、開発の効率化を図った。
- **研究機関 G:** 特定の技術分野における特許動向を調査するために、**Tokkyo AI** を活用。特許出願件数、主要出願人、技術キーワードなどを分析し、研究開発の方向性を決定した。

AI Samurai

- **企業 H 社:** 海外進出にあたり、**AI Samurai** を用いて各国における特許リスクを調査。侵害リスクの高い国を特定し、適切な対策を講じた。

- **ベンチャー企業 I:** 限られたリソースで効率的に知財戦略を推進するために、AI Samurai を採用。特許調査、先行技術調査、侵害リスク分析などを自動化し、コスト削減と時間短縮を実現した。

料金体系

Service	Pricing Model	Trial	Key Features
Patentfield AIR	年間契約	無料トライアルあり	ユーザー数や機能によって料金が異なる。メール、電話、チャットでサポートを提供。
Summaria	年間契約	無料トライアルあり	ユーザー数や機能によって料金が異なる。充実したオンラインサポートとトレーニングを提供。
Tokkyo AI	月額契約	無料トライアルあり	プランによって料金が異なる。メールと FAQ によるサポートを提供。
AI Samurai	月額契約	無料トライアルあり	プランによって料金が異なる。チャット、メール、電話でサポートを提供。

競合との比較

Patentfield AIR、Summaria、Tokkyo AI、AI Samurai は、それぞれ独自の強みを持つことで競合との差別化を図っています。

- **Patentfield AIR:** 多言語対応と広範な特許データベースにより、グローバルな視点での特許調査・分析を可能にします。
- **Summaria:** 特許訴訟データに特化し、AI と機械学習を用いた高度な分析を提供することで、訴訟リスクの評価、訴訟戦略の立案を支援します。
- **Tokkyo AI:** 日本語特許データに特化し、高度な自然言語処理技術を活用することで、日本語特許の分析において高い精度を実現しています。
- **AI Samurai:** 多様な AI 技術を駆使し、特許調査から侵害リスク分析、無効資料調査まで、知財業務全般を包括的に支援します。

生成 AI の活用

各サービスは、生成 AI をそれぞれ独自の方法で活用し、サービスの強化を図っています。

- **Patentfield AIR:** 生成 AI を活用し、特許データの分析、権利範囲の解釈、侵害リスクの評価などを自動化することで、より効率的かつ精度の高い分析を実現しています。例えば、生成 AI を用いて特許データと企業情報を分析し、潜在的なライセンス機会を特定します。
- **Summaria:** 生成 AI を用いて訴訟データの分析、訴訟結果の予測、特許価値の評価などを高度化しています。例えば、過去の訴訟データに基づいて、将来の訴訟結果を予測することで、企業の訴訟戦略策定を支援します。
- **Tokkyo AI:** 生成 AI を活用し、特許明細書のテキスト解析、特許分類の自動化、類似特許の検索などを実現しています。例えば、自然言語処理技術を用いて特許明細書を解析し、技術的な特徴を自動的に抽出することで、特許分類の精度向上に貢献しています。
- **AI Samurai:** 生成 AI を用いて、特許調査、先行技術調査、侵害リスク分析、無効資料調査などを自動化し、知財業務の効率化を支援しています。例えば、AI による自動化により、従来は手作業で行っていた先行技術調査を大幅に短縮することが可能になります。

まとめ

Patentfield AIR、Summaria、Tokkyo AI、AI Samurai は、いずれも AI を活用した高度な特許調査・分析サービスを提供しています。それぞれのサービスは、機能、活用事例、料金体系などが異なり、強みとする分野も異なります。

- **Patentfield AIR:** 多言語対応、広範な特許データベース、技術動向分析に強み。
- **Summaria:** 特許訴訟データ分析、訴訟予測に強み。
- **Tokkyo AI:** 日本語特許データに強く、自然言語処理技術による高精度な分析が特徴。
- **AI Samurai:** 多様な AI 技術を活用した、包括的な知財業務支援に強み。

企業や組織は、それぞれのニーズや目的に合わせて最適なサービスを選択することが重要です。例えば、米国特許訴訟に特化した分析を必要とする企業は Summaria が適している一方、グローバルな視点で多言語に対応した包括的な分析を求める企業は Patentfield AIR が適していると考えられます。無料トライアルなどを活用し、実際にサービスを体験してみることをお勧めします。

特許ランドスケープの複雑化が進む中、AIを活用したツール導入の必要性が高まっています。それぞれの要件を慎重に検討し、今回ご紹介したサービスを検討することで、企業や研究者は今日のダイナミックな環境において競争力を獲得するために、これらの進歩を活用することができます。

今後の展望

AI技術は常に進化しており、AI特許調査・分析サービスも今後さらに発展していくことが予想されます。より高度な分析機能、より精度の高い予測、より使いやすいインターフェースなどが実現されることで、知財業務の効率化、戦略策定の高度化に貢献していくでしょう。

Patentfield AIRは、セキュリティと透明性を強化するためにブロックチェーン技術の統合を計画しています。Summariaは、訴訟予測の精度向上と、新たな法域への対応を強化していく予定です。Tokkyo AIは、日本語特許データの分析精度をさらに向上させるとともに、多言語対応を進めることで、グローバル市場への展開を目指しています。AI Samuraiは、AI技術の進化を継続的に取り込み、より高度な知財業務支援機能の開発を進めています。

また、AI技術の進化に伴い、新たなサービスや機能が登場する可能性もあります。例えば、特許出願書類の作成支援、特許交渉の自動化、ブロックチェーン技術との連携など、AIの活用範囲はさらに広がっていくと考えられます。

これらの進化を注視し、AI特許調査・分析サービスを効果的に活用することで、企業や組織は競争優位性を強化し、イノベーションを促進していくことができるでしょう。